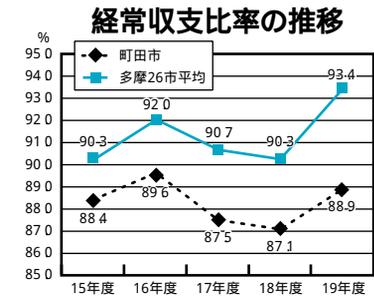


主な財政指標 (平成19年度)

- 町田市の財政状況を表す数値はどうだったか? -

経常収支比率

家計にたとえると、毎月の給与収入に対する食費や光熱水費、ローンの返済など毎月必ず支出が必要な経費の割合にあたり、財政の余裕度を示しています。



平成19年度は88.9%で、前年度から1.8ポイント上がりました。これは、定年退職者の増や国民健康保険、老人保健等特別会計への繰出金の増が大きく影響しています。

健全化判断比率

一般会計だけでなく特別会計を含めた赤字額、公社・第三セクター等を含めた借金返済の単年度負担や将来負担の大きさを数値化したものです。

	町田市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	16.25%	40%
実質公債費比率	4.6%	25%	35%
将来負担比率	- (将来負担なし)	350%	

「早期健全化基準」は財政破たんの「イエローカード」、「財政再生基準」は「レッドカード」にあたる数値です。

資金不足比率

市が経営する公営企業の資金不足の大きさを数値化したものです。

	資金不足比率	経営健全化基準
病院事業会計	- (資金不足なし)	20%
下水道事業会計	- (資金不足なし)	
忠生土地区画整理事業会計	- (資金不足なし)	

「経営健全化基準」は経営破たんの「イエローカード」にあたる数値です。

バランスシート・行政コスト計算書

- 町田市の資産や将来の負担、行政サービスのコストはどうなっているか? -

市では1年間にどれくらいの収入があり、何にいくら使ったかという「こづかい帳方式」で経理を行っています。この方式は、現在どれだけの資産や借金があるのか、行政サービスを提供するのにどれくらいのコストがかかっている

のか、わかりにくいのが難点です。そこで、一般会計と全ての特別会計を合算した市全体の「バランスシート」と「行政コスト計算書」を民間企業方式にならない、作成しました。

バランスシート

ある一定時点における財産の状況をあらわした表です。バランスシートは左右の表で、表の左側はどのような資産を保有しているかを、表の右側は資産を形成する際に必要な資金をどのように集めたかをあらわしています。

行政コスト計算書

一定期間の人的サービスや医療費等の給付などの行政サービスに要した費用(コスト)と、その財源となる市税や使用料等を示しています。

市全体のバランスシート (平成20年3月31日時点) (単位:億円)

借方		貸方	
【資産の部】		【負債の部】	
1.有形資産 (土地・建物等)	6,208	1.市債	1,315
2.投資等 (1)投資及び出資金 (2)貸付金 (3)基金 (4)その他	215 35 1 178	2.退職給与引当金	252
3.現金等 (1)現金・預金 (2)未収金 (3)その他	260 185 75 1	3.その他	25
4.繰延勘定	6		
		負債合計	1,592
		【正味資産】	
		1.国庫・都支出金	1,051
		2.市税等	4,047
		正味資産合計	5,097
資産合計	6,689	負債・正味資産合計	6,689

市全体の行政コスト計算書 (単位:億円)

【行政コスト】		
1.人にかかるコスト (1)人件費 (2)退職給与引当金繰入等		206 266 60
2.物にかかるコスト (1)物件費(委託料、消耗品費など) (2)施設の維持補修費 (3)建物・備品の減価償却費		413 251 12 150
3.移転支的コスト (1)扶助費 (2)市民や団体への補助金等		1,159 255 904
4.その他のコスト (1)市債利子 (2)不納欠損額 (3)その他		40 31 7 2
行政コスト合計		1,818

【収入項目】		
1.使用料・手数料		554
2.国庫・都支出金		476
3.市税等		910
収入項目合計		1,940

用語解説

- 繰延勘定...建設改良に係る多額の消費税額を複数年(10年)で均等割し、会計処理上複数年のコストとして計上するために設置している項目(病院事業に適用)
- 退職給与引当金...在職している職員に対して将来負担することとなる退職金の額
- 行政コスト計算書の退職給与引当金繰入等がマイナスとなっているのは、退職給与引当金の計算方法の変更によるもの
- 減価償却費...建物や備品の価値が一定期間の経過により減少した額
- 不納欠損額...破産、倒産等により収納できなかった税金、使用料等

四捨五入による端数処理を行っているため、合計と合致しない場合があります。

平成20年度上半期財政状況

市民の皆さんに納めていただいた税金、市債(長期借入金)などについて、平成20年度上半期(平成20年4月1日~9月30日)の財政状況としてお知らせします。

金額は、万円未満四捨五入 お問い合わせは、財政課(☎724・2149、☎724・1172)へ。

一般会計・特別会計の状況

平成20年度の一般会計・特別会計予算額と上半期の収入・支出の状況は下表のとおりです。

会計	予算現額(a)	収入済額(b)		収入率(a/b)
		収入済額	支出済額(c)	執行率(a/c)
一般会計	1,210億1,912万円	657億2,210万円	461億8,340万円	54.3%
特別会計	国民健康保険事業会計	351億4,710万円	169億1,532万円	48.1%
	下水道事業会計	139億4,582万円	162億5,880万円	46.3%
	忠生土地区画整理事業会計	14億6,357万円	51億5,422万円	37.0%
	老人保健医療事業会計	44億5,191万円	51億3,089万円	36.8%
	介護保険事業会計	200億7,552万円	11億304万円	75.4%
	後期高齢者医療事業会計	60億4,812万円	10億7,327万円	73.3%
	受託水道事業会計	21億4,700万円	35億1,540万円	79.0%
	小計	832億7,904万円	22億6,300万円	50.8%
	合計	2,042億9,816万円	93億9,122万円	46.8%
		75億8,520万円	37.8%	
		22億686万円	36.5%	
		16億7,385万円	27.7%	
		8億6,665万円	40.4%	
		6億1,899万円	28.8%	
		391億5,272万円	47.0%	
		346億400万円	41.6%	
		1,048億7,482万円	51.3%	
		807億8,739万円	39.5%	

公営企業会計(病院事業会計)の状況

町田市民病院の平成20年度予算額と上半期の収入・支出の状況は下表のとおりです。

区分	予算額	収入済額		収入率
		執行額	執行率	
収益的収支	収入	126億1,204万円	42億3,473万円	33.6%
	支出	145億8,517万円	56億1,654万円	38.5%
資本的収支	収入	9億6,402万円	2,942万円	3.1%
	支出	22億6,635万円	12億9,828万円	57.3%

また、町田市民病院の上半期の利用状況とそれに伴う料金収益は下表のとおりです。

	患者数	料金収益
入院	61,092人	27億2,033万円
外来	146,811人	12億7,798万円

市債の状況

市債とは、都市計画道路・公園・下水道・学校など公共施設整備の資金として市が借り入れたお金です。こうした施設は長期にわたって利用できるもので、整備したときの市民だけではなく将来利用する市民にもその費用を負担していただくことで、世代間の負担の公平を図っています。

会計	元金残高	将来負担利子見込額
一般会計	578億4,141万円	67億3,144万円
下水道事業会計	521億6,380万円	150億548万円
病院事業会計	175億7,954万円	51億2,835万円
合計	1,275億8,475万円	268億6,527万円

利子見込額は、今後支払いが予定されている総額です。なお、元金残高に対して平成20年度下半期に支払う予定の利子は16億4,010万円です。

市有財産の状況

平成20年9月30日時点の市有財産の状況は次のとおりです。

土地	654万2,656.03㎡	建物	83万8,240.47㎡	物件	1,122.51㎡	美術品等備品	1,550点	積立金	162億8,947万円	出資金	34億8,318万円	貸付金等債権	1億9,235万円	有価証券	7,660万円
					(取得価格100万円以上)								無体財産権	35件	